

2月28日  
信仰による神の義  
ローマ3章21～26節

3:21 しかし、今は、律法とは別に、しかも律法と預言者によってあかしされて、神の義が示されました。

3:22 すなわち、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、それはすべての信じる人に与えられ、何の差別もありません。

3:23 すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、

3:24 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。

3:25 神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。それは、ご自身の義を現わすためです。というのは、今までに犯されて来た罪を神の忍耐をもって見のがして来られたからです。

3:26 それは、今の時にご自身の義を現わすためであり、こうして神ご自身が義であり、また、イエスを信じる者を義とお認めになるためなのです。

先週は3章21節の  
「神の義が示されました」という個所から  
「現れた神の義という」  
テーマで説教をしました。  
今日はさらに現わされた神の義を  
「信仰による神の義」というテーマで  
ローマ章3章に取り組みたいと思います。

示された神の義、現わされた神の義を  
具体例として

アブラハムに示された神の義、  
そしてそれを信じて義とされ  
アブラハムの人生に現わされた  
神の義を学んできました。

又学ぶだけでなく、私たちもその信仰に  
倣っていき、歩んでいきたいと思ひます。

ローマ3章20節には  
「なぜなら、律法を行なうことによって、  
だれひとり神の前に義と  
認められないからです。」

### 3章23節

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を  
受けることができず」と書かれています。

アブラハムは行いによっては  
神様に義と認められていません。

アブラハムは神様の命令に従って  
生まれ故郷、父の国を捨てて、離れて、  
神様に従って約束の地に向かっていきます。

このように神様に従っていますが  
エジプトに行ったときには  
妻を妹と言ってウソをついています。

ウソをつくことで自分を守り、  
妻がエジプト王の側室にされそうになりました。

妻を守らない自己中心の  
大きな罪を犯しています。



アブラハムは75歳を超えても  
子宝に恵まれていません。

当時は医学の知識はありませんでしたので、  
子どもがたくさん生まれることは  
神様の恵みを一杯受けている証し。

ことばを返せば

子どもが与えられていないのは  
神様の恵みが与えられていないと  
人々は受け止めていました。

周りの親戚、友人たちの家庭に  
次々と子供が生まれ、幸せな笑い声が  
天幕から聞こえてくる。

アブラハムは心の中で  
子ども一人生むことのできない自分たちの  
無能力感にさいなまれていたかもしれません。

**当時の価値観**

**子どもがたくさん生まれる**

**神の祝福を一杯受けている**

**今日の価値観**

**経済・学力・生産力の**

**豊かさか乏しさと置き換えることができます。**

アブラハムは自分の罪を認め  
自分の弱さ、力の無さの中で、  
「あなた自身から生まれるものが、  
あなたの跡を継ぐ」

「あなたの子孫は星の数のように多くなる」  
という神様の約束を信じました。  
自分の弱さ足りなさ、罪を見ないで  
神様を見上げて約束を信じました。  
主はそれを彼の義と認められた。

創世記15章ではその後  
不思議なことが行われています。

15:9 すると彼に仰せられた。  
「わたしのところに、三歳の雌牛と、  
三歳の雌やぎと、三歳の雄羊と、  
山鳩とそのひなを持って来なさい。」  
15:10 彼はそれら全部を持って来て、  
それらを真っ二つに切り裂き、  
その半分を互いに向かい合わせにした。  
しかし、鳥は切り裂かなかった。

これは当時の契約の形式でした。  
雌牛、雌やぎ、雄羊を真っ二つに切り裂く。  
それらを向かい合わせに並べる。  
その間を契約を結ぶ甲と乙が歩く。

これは

この契約に違反をしたら  
私のからだがこの動物のように  
真っ二つに切り裂かれることに同意をします、  
ということです。

日本語では契約に調印するとか  
契約の印を押すといいます。

ヘブル語では

カーラス(切る) ベリース(契約)  
契約を切ると言います。

契約を結ぶとき、印を押すのではなく  
雌牛、雌やぎ、雄羊を切り裂いて  
契約を結びました。



15:17 「さて、日は沈み、暗やみになったとき、その  
とき、煙の立つかまどと、  
燃えているたいまつが、  
あの切り裂かれたものの間を通り過ぎた。」  
神様とアブラハムの契約なら  
神様とアブラハムがあるくはず。  
煙の立つかまどと、  
燃えているたいまつは  
父なる神様と子なるキリストを現わしています。

神様とアブラハム、神様と人類の契約、  
あなたを義とするという契約を  
神の子イエス様が  
私たちの代わりに結んでくださいました。  
人類は律法を守れませんでした。  
罪を犯しています。  
イエス様は十字架の上で子羊のように  
切り裂かれて血を流してくださって  
神様との契約を守って、  
私たちが義として救い出してくださいました。

私たちはイエス様の犠牲によりまして  
価なしに義と認められるのです。  
無代価、無条件のイエス様の贖いを信じて  
救いの享受して、恵みを喜びましょう

もう一人無力の中で信仰を持った人を  
新約聖書から紹介します。

## ルカ福音書23:39

十字架にかけられていた犯罪人のひとりはいエスに悪口を言い、「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え」と言った。

23:40 ところが、もうひとりのほうが答えて、彼をたしなめて言った。「おまえは神をも恐れぬのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。

23:41 われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。」

23:42 そして言った。「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときには、私を思い出してください。」

23:43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

あの日ゴルゴダの丘に  
三本の十字架が立てられました。  
イエス様の十字架の両側に二人の強盗が  
十字架につけられていました。

十字架にかけられていた  
犯罪人のひとはイエスに悪口を言い、  
「あなたはキリストではないか。  
自分と私たちを救え」と言った。



23:40 ところが、もうひとりのほうが答えて、  
彼をたしなめて言った。

「おまえは神をも恐れないのか。おまえも  
同じ刑罰を受けているではないか。

23:41 われわれは、自分のしたことの報いを受けて  
いるのだからあたりまえだ。

だがこの方は、  
悪いことは何もしなかったのだ。」

23:42 そして言った。「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときには、私を思い出してください。」

23:43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

この強盗は死ぬ直前にたった一言  
「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるとき  
には、私を思い出してください。」  
とイエス様に叫んでいます。

それだけで

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わた  
しとともにパラダイスにいます。」

という約束をイエス様からいただいています。

強盗は義とされ、救われ、天国に直行しています。

何も善行を行っていません。  
ただイエス様がメシヤ、救い主とわかり、  
信じ、私を思い出してください、  
とだけ告白しています。  
信じるだけで、それを表現するだけで  
救われます。

話せなければまばたきで、  
肯いて首を縦に振るだけで  
信仰の告白ができます。  
信じる者はだれでも救われます。  
何の差別もありません。  
イエスを救い主と信じる者は  
誰でも救われ人生が変えられます。  
死の間際であっても救いの機会は  
備えられています。

信仰によって救われ義とされた  
一人の歴史上の人物を紹介します。

DLムーディー  
ナタナエル君が学んだ  
ムーディー聖書学院の創立者

1837年2月5日、アメリカ  
マサチューセッツ州で生まれる。

6歳の時父は死亡。

9人の子どもを母は育てる。

ムーディーは家事を助けるために  
小学校にもまともに言っていない。

お母さんは子供たちを幼いころから教会に  
連れて行く。イエス様を信じて

18歳で靴屋で働き、

19歳から日曜学校で子供に教える。



素晴らしい伝道者になる。  
シカゴに大きな教会を設立、  
アメリカ各地を巡回伝道。

イギリスで伝道した時、  
CTスタッドのお父さんが救われ、  
お父さんの伝道でCTスタッドと  
二人の兄も救われる。

DLムーディのケンブリッジ大学伝道で  
多くの学生が救われ宣教師になっていく。

神様は信じるすべてのものを  
救い義とされる。  
何の差別もありません。  
義とされた者は  
神様から恵みを一杯いただき、  
神様に喜ばれる生涯を送ることができる。

大いなる神様を信じ、期待して歩みましょう。

祈り

父なる神様、イエス様の十字架の犠牲により  
私たちを無条件で贖い、救い、義として、神の子  
としてくださったことを感謝します。誰でも信じるだ  
けで神の子とされ豊かな恵みに浴することができる  
ことを感謝します。多くの方がこの福音の恵みに  
よって救われ、恵まれた人生を歩まれるように、私  
たちを、この教会を豊かに用いてください。主イエ  
ス様の御名によって祈ります。アーメン。